

第107総会

2021年度(令和3年)

自2020年12月1日 至2021年11月30日

事業活動計画(案) 及び 会計収支予算(案)



2020年11月28日(土)

第107総会はコロナウィルス感染症予防対策のため、
書面による総会といたします。

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会

報告

2020年度事業活動 中間報告

自：2019年12月1日 至：2020年11月30日

響きあうBSAのために

BSA創立100周年を迎える

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な活動休止となった。以下は実施したものだけに止める。

※（見出しのローマ数字は、2020年度事業計画（案）に対応している。）

I. キリスト教精神を世に広げる周知・広報活動：

1. 伝道用小冊子「BSA信徒叢書」

理事会の中に「信徒叢書編集委員会」を作り、新たな信徒叢書発行に向け検討を進め、2021年度発行に向けて準備を進めている。

2. 機関紙 VISION

機関紙 [VISION] の充実

BSAの日常活動を記録、周知し、会員相互を結ぶとともに、広くBSAの存在を知らせる広報誌作りを目指して、VISION編集部は2020年度に以下のような記事構成により紙面の充実化に努めた。

主な記事一覧

・巻頭言

「わたしはメシアに出会った」（三原一男司祭：169号）；「キリストは、確かによみがえられた」（中川英樹司祭：170号）；「視座の変容を求めて」（中村邦介 神学院校長：171号）；「観想的なひとへ」（黒田裕 ウイリアムス神学館館長：172号）

・所信表明「新たな前進を目指して」（足立征三郎 BSA 会長：170号）

・総会報告 BSA 第105総会（169第号）、第106総会（170号）

・連載の継続と新規企画

（1）「忘れ得ぬ人々」 竹田鐵三神父（倉石昇兄：169号）；小川徳治元 BSA 会長（小川春乃姉：171号）

（2）「信徒叢書のある風景」 ポール・ラッシュ記念館（169号）；聖ルカ礼拝堂（170号）；『聖職者が勧める信徒叢書』（171号）

（3）「ポール・ラッシュから受け継ぐもの（1）」（172号からの新規企画） 『ポール・ラッシュから学んだこと』（松平信久兄）、『気が進まないことに留まる』（澁澤一郎 主教）

（4）「VISION 文芸」

（5）「清泉寮ニュース」

・追悼記事 寺内安彦元会長（永井信行兄：169号）；砂田郁郎前会長（吉松英美兄、外池圭二兄：171号）；岡野峻評議員（吉松英美兄：172号）

- ・特集「コロナの日々 ― わたしのステイ・ホーム」(会員 10 名からの随想)
- ・投稿 「ビジョンは幻か」(吉松英美兄：169 号)；「私のファミリーヒストリー ― 研修旅行での大きな収穫」(東理夫兄：170 号)；「アメリカ留学スポンサーのポール・ラッシュ」(吉田昌夫兄：171 号)；「コロナ禍を生きる子どもたち ― 支援活動の現場から」(田中茂朗兄：172 号)

発行時期・部数等

- ・VISION 169 号 2020 年 1 月発行
- ・VISION 170 号 2020 年 4 月発行
- ・VISION 171 号 2020 年 7 月発行
- ・VISION 172 号 2020 年 10 月発行
- ・発行部数・形態：年間 4 回発行。タブロイド版 6 頁を各回 2 千部発行。
- ・編集方針：投稿、本部・支部便りの更なる充実を図る。特に、会員の紙面参加を奨励し、「会員による、会員のための紙面づくり」を目指す。
- ・配布先：全会員、日本聖公会の全教会、関係学校、医療、養護、諸施設、内外諸団体、本会の協力者に配布。

4. BSA の課題精査・見直し

BSA の課題精査・見直しを行う「特別委員会」を新規に立ち上げ、

- ① 2020 年度事業計画に基づき岩間光雄兄、尾崎茂雄兄、金子眞兄、木島出兄、小室喜雄兄、野田徹兄および松田正人兄の 7 名の委員が選任され、2 回の委員会をもったが、2 月 28 日以降に予定した会議は、コロナ禍の影響により中断している。
- ② 第 1 回委員会 (12 月 28 日)
委員長 (岩間兄)、委員長補佐 (野田兄)、事務局 (木島兄)、役割分担の承認。当面 1 年間のテーマを決め、月 1 回の会議を行う予定とした見直す元になる資料のリストアップと課題の整理についての議論。
- ③ 第 2 回委員会 (1 月 18 日)
用意された資料をもとに、BSA90 年の総括と現状の問題点を洗い出す方法について議論。
- ④ 今後の委員会
引き続き 2021 年度も委員会活動を継続し、理事会への提言をまとめるため、課題をカテゴリー別に整理し、具体的な問題点の抽出と解決の方策を探る。

II. 教育事業： 中間報告事項なし

III. 社会事業： 中間報告事項なし

IV. その他事業： BSA の目的を達成するため必要な事業

3. 支部の増設ならびに会員増強活動

2 月 24 日に千葉県に北総支部誕生した。

4. BSA 創立 100 周年への取り組み

- ・100 周年記念「ロゴ・マーク」募集を行った。

募集は2020年1月31日に締め切り、3名から12点の応募があった。3月開催の理事会で選考予定であったがコロナ禍の影響で延期され、今日に至っている。

V. 総会、役員会

1. 総会

- ① 第106 決算定時総会 2020年2月22日(土) 於：東京教区会館3階
報告：①2019年度(2018.12.1.～2019.11.30.)事業報告
議案：①2019年度(2018.12.1.～2019.11.30.)会計収支決算・剰余金処分
(案)決議

- ②役員(理事14名、監事2名)任期満了に伴い、新たに理事14名、
監事2名を選任

- ② 第107 総会 2020年11月28日(土) 書面による開催
議案：①2021年度(2020.12.1.～2021.11.30.)事業活動計画(案)決議
②2021.年度(2020.12.1.～2021.11.30.)会計収支予算(案)決議

2. 理事会 毎月定例に開催

2月22日(土)第106総会後に開催された理事会で、会長・副会長を選定した。
以降、3月から9月まではコロナウィルス感染症の影響で、事務所のある東京教
区会館の使用が制限されたため開催出来なかった。10月からオンラインによる理
事会を始めた。

3. 評議員会 総会開催時に開催。第107総会前の評議員会は書面による開催とした。

以上

第1号議案

2021年度事業活動計画（案）

自：2020年12月1日 至：2021年11月30日

響きあうBSAのために

BSAは2027年に創立100周年を迎える

新型コロナウイルス感染症によって活動を阻害された2020年度活動計画を復活し、今年度事業として活動を継続して行う。

BSAの基本理念は「祈祷と奉仕」「一人が一人を」であり、御国拡張を目指すことに変わりなく、BSAは教会の働きに信徒が参加する集まりが土台となる。現在の会員数は正会員191名、賛助会員82名、聖職者会員76名を合わせた登録会員は349名である。地域別の分布を見ると、東京・横浜両教区に集中し、盛岡、福岡の両支部と各地に散在する個人会員が数人見られる。「BSAは全国区」といいながら、BSAの存在を知らない人々が多くいる。

BSAの裾野を広げ、BSAの“顕在化”を図る

BSA活動の広がりと今後の発展を図るため、とかくBSA内で完結しがちな活動についても、会員外の人たちに参加を呼びかけ、BSAを知り、馴染んでもらう努力をする。まずは知名度と理解度を、点から線、そして面に広げる。

BSA創立100周年までに 聖公会のすべての聖職および信徒への働きかけを強化し、BSAの“顕在化”を図る。BSAと聞けば、それが何であるのかを分かってもらえるようにしたい。

会員一人一人を大事にする運営

理事会等の動きを「本部だより」として支部長に送り、各会員に伝えてもらうことにしている。本部と会員との回路が太くなり、そのことがBSAの一体感につながることを期待している。問題は、個人会員との一体感をどう高めるかである。会員あつてのBSAであることを忘れてはならない。

BSA創立100周年への取り組み 「気になるBSA」を目指す

個別具体的な活動は、出来るだけ各年度の通常の事業活動計画の中で実施する。それによって限られたマンパワーを有効に活用する。また、この機会に既存の事業活動のスクラップ&ビルドを行い、事業活動の効率化と活性化を図る。

BSAが直面する課題にしっかり向き合い、100周年を迎える2027年には、北から南までお互いの活動が「響きあうBSA」、周囲から見れば最近のBSAはこれまでと違って、「何か気になることをしている」といわれるBSAを目指す。

2021年度は、これらを基本コンセプトとして、以下のような諸活動を展開していくこととするが、新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況の中、やむを得ず中止・休止延期となることもあり得るのでご承知おきいただきたい。

I. キリスト教精神を世に広げる周知・広報活動：

② ボランティア活動（会員一人ひとりの日常活動及び支部活動）

②機関紙「VISION」、「BSA 信徒叢書」その他出版物の配布

1. 伝道用小冊子「BSA 信徒叢書」の発行・増刷

・信徒叢書の新刊発行が 10 年余途絶えている。今年度は第 2 期シリーズとして 3 冊の発行を計画している。

2. 機関紙 VISION

機関紙 [VISION] の充実

機関紙 VISION は、BSA の日常活動を記録し、周知することによって、会員相互を結ぶとともに、広く世間に対して BSA の存在を知らしめる唯一の広報紙である。

・VISION 173 号 2021 年 1 月発行予定

・VISION 174 号 2021 年 4 月発行予定

・VISION 175 号 2021 年 7 月発行予定

・VISION 176 号 2021 年 10 月発行予定

・発行部数・形態：年間 4 回発行。タブロイド版（4～6 頁）を各回 2 千部発行。

・編集方針：投稿、本部・支部便りの更なる充実を図る。

特に、会員の紙面参加を奨励し、「会員による、会員のための紙面づくり」を目指す。

・配布先：全会員、日本聖公会の全教会、関係学校、医療、養護、諸施設、内外諸団体、本会の協力者に配布。配布先、配布部数の見直しをし、BSA 活動のさらなる浸透と業務の効率化を図る。

3. BSA 通信の発行・・・BSA の“見える化”活動

・BSA の存在や活動を BSA 会員以外の人々に広く周知し、知っていただく活動を実施

4. BSA 案内パンフレット作製、配布

・BSA の理解を得るため、改訂「パンフレット」を作成。

5. ホーム・ページの充実

・更なる内容充実

6. BSA セミナー

・第 105 総会議案書原稿：2020 年度 BSA セミナー提案

提案趣旨

幕末から明治にかけて、イギリス、アメリカ、カナダを中心とする外国人宣教師たちによる宣教活動が展開された。

宣教活動は、どういういきさつと使命感のもとで行われたのか。ミッションの違いは、その後の教区や教会の礼拝の仕方、教勢の発展にどう影響したのか。

現在の教区の土台を築いた外国人宣教師たちの熱意と努力を描く。

実施時期： 未定

会 場： 未定

テーマ： 「来日宣教師の働きと教区編成一米・英・加ミッションの特色と日本聖公会」
講師： 前・立教学院院長 松平信久氏
主催： 一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会 (BSA)
後援： 日本聖公会
参加見込み：60人 (事前申し込み不要)
広報： 機関紙『VISION』、BSA ホーム・ページ、『管区事務所だより』、東京・横浜・北関東各教区の教区時報、各教会宛のチラシ、これまでの参加者ほか。

II. 教育事業： ① キリスト教精神をベースとしたリーダーシップを持つ社会に有為な青少年の育成。

② 研修・交流ツアー等 成人のための啓発事業

1. BSA 青少年キャンプ

◇ 開催地を清泉寮とした「こども・青少年キャンプ」へ、KEEP 協会、関連諸団体と協働・支援

・ BSA 企画「青少年キャンプ」支援

・ 3/29 日 (月) - 31 (水) 「青少年キャンプ」 (第 6 回)

企画内容：キリスト教精神に基づいて、BSA オリジナル・プログラムである指導者訓練キャンプをキープ協会と共催で開催する。

目的：BSA の祈祷と奉仕の精神をもとに、自然体験と共同生活を通して、こども達の感性と自主性、自然と人間の関わり、他者への思いやりや生きる力を育てることを目的とする。

共催：日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)・キープ協会(KEEP)

後援：日本聖公会

会場：公益財団法人キープ協会 自然学校

参加者：20名 (BSA スタッフ7名・KEEP スタッフ7名)

2. 立教大学 BSA 支部 支援

3. BSA 研修ツアー

開催期日： 秋 1泊2日予定

III. 社会事業： ① 困難な状況にある人々を支援・救済するボランティア活動やチャリティー・コンサート、講演会等の開催

② 公益財団法人キープ協会との協働、

1. 災害被災者への復興支援活動

・ 災害被災者支援のため

地震・噴火・台風・豪雨等による大災害に対し、その被災状況に応じて支援活動を行う。

2. ボランティア活動

・ 支部活動として、また各個会員による実施

3. 公益財団法人 KEEP 協会 と協働した活動

- ◇ 行事・諸活動の企画・実施に当たり、KEEP 協会と協働して活動。
 - ・青少年キャンプ（教育事業）を共催で開催する。
 - ・清里にある施設の利用

IV. その他事業： BSAの目的を達成するため必要な事業

1. 支部との関係強化による一体感の醸成

(1) 「BSA 本部だより」の発行

- 支部と本部は車の両輪である。2016 年度から始めた「BSA 本部だより」の充実を図り、情報の共有を通じて、支部と本部の意思の疎通と連携を強化していく。
- ・1年を通じ 理事会の様子などを中心に、必要に応じて発行する。
 - ・支部に属さない会員への対応を考え、実施する。

(2) 支部長会議 年1回開催する。

- 本部活動概要報告、支部活動報告、支部の抱える諸課題、本部への要望等を話し合い、分かち合い、理事会へ意見具申する。

(3) 支部との懇談会の実施

- 本部役員と支部会員との懇談会を継続する。詳細はその都度「VISION」等で周知する。

2. 支部活動の活動支援

- ・支部からの企画提案を受ける。
- ・理事会は、支部体制の確立に向け検討、支援を行う。

3. 支部の増設ならびに会員増強活動

- ・BSA の裾野を広げる活動を会員以外の人たちへ広げる。
- ・BSA の認知度を高める。
- ・BSA 事業の協力者を広め、活動の賛同者を得るよう努める。
- ・BSA 空白教区へ積極的にアプローチする。

4. 特別委員会

- ・BSA の課題を精査整理し、検討・協議する。協議された内容は理事会に報告する。

5. BSA 創立 100 周年への取り組み

- ・第 105 総会で案内した「創立 100 周年記念事業基本構想」に基づき、2027 年を目指して第 1 期事業に掲げた諸事業に着手し、「気になる BSA」の考え方を確認し、進める。
- ・「BSA 創立 100 周年プロジェクト」活動、理事会へ提言
- ・BSA 創立 100 周年記念「ロゴ・マーク」
応募された作品を検討・吟味して選定を行い、使用を開始する。
- ・アーカイブス 基礎資料の収集（写真・音声・印刷物など）

V. 総会、役員会

1. 総会

- ① 第108 決算定時総会 2021年2月²⁷~~22~~日(土) 予定 於：東京教区会館3階
報告：①2020年度(2019.12.1.~2020.11.30.) 事業報告
議案：①2020年度(2019.12.1.~2020.11.30.) 会計収支・剰余金処分(案)
決議

- ② 第109 総会 2021年11月27日(土) 於：未定
議案：①2022年度(2021.12.1.~2022.11.30.) 事業活動計画(案) 決議
②2022.年度(2021.12.1.~2022.11.30.) 会計収支予算(案) 決議

2. 理事会 毎月定例に開催

3. 評議員会 総会開催時に開催

以上

第2号議案

2021年度(令和3年)会計収支予算(案)
自:2020年(令和2年)12月1日～至:2021年(令和3年)11月30日

(単位:円)

勘定科目 大科目 CD 小科目	2020年 予算	2021年 予算	備考
I. 事業活動収入の部			
1 事業活動収入			
1 会費収入	820,000	820,000	
1 正会員会費収入	700,000	700,000	個人会費 5,000 X 140件
2 賛助会員会費収入	120,000	120,000	賛助会費 3,000 X 40件
2 事業収益	1,526,000	1,593,000	
3 各種活動収入	1,030,000	1,032,000	青少年キャンプ等参加費、研修参加費
4 広告収入	461,000	461,000	機関誌掲載広告収入
5 諸頒布収入	35,000	100,000	信徒叢書等印刷物頒布
3 受取寄付金	80,000	80,000	
6 寄付金収入	80,000	80,000	各種事業に係る寄付金収入
4 雑収入	600,000	600,000	
7 雑収入	600,000	600,000	キープ事務所負担金
8 受取利息	0	0	預金利息等
事業活動収入計 (A)	3,026,000	3,093,000	
II. 事業活動支出の部			
2 事業活動支出			
1 事業費支出	2,382,000	2,635,000	
21 各種援助金			支援活動援助費、災害支援金
22 各種活動費	1,382,000	1,635,000	青少年育成事業、各種会合研修費、叢書発行費他
23 文書活動費	1,000,000	1,000,000	機関紙発行費用、パンフレット作成費用他
24 給与手当			
25 旅費交通費			
26 通信運搬費			
27 消耗品費			
28 印刷製本費			
30 渉外費			
32 雑費			
2 管理費支出	965,000	805,000	
51 役員報酬			
52 給与手当			
53 旅費交通費	450,000	285,000	一般交通費・支部訪問・交通費補助(理事会・支部長会)
54 通信運搬費	120,000	120,000	電話料、切手代、郵送代、その他
55 什器備品費	25,000	25,000	パソコン及び付属品
56 消耗品費	70,000	70,000	管理関連事務用品、一般消耗品代他
57 印刷製本費	60,000	60,000	一般印刷ならびにコピー代
58 会議費	10,000	10,000	一般会議、打ち合わせ、会合費
59 修繕費	10,000	10,000	事務機器修理代
60 渉外費	30,000	30,000	慶弔費ならびに記念品代、一般渉外費
61 特別献金	120,000	120,000	日本聖公会東京教区献金
62 支払手数料	20,000	25,000	郵便振替手数料他手数料
63 雑費	50,000	50,000	聖公会手帳掲載費、一般諸雑費
事業活動支出計 (C)	3,347,000	3,440,000	
当期収支差額 (A) - (C)	△ 321,000	△ 347,000	
前期繰越収支差額	2,454,089	2,133,089	
資金取崩収入			
次期繰越収支差額	2,133,089	1,786,089	

別表

主な事業活動収入内訳		2020年度予算	2021年度予算 (案)
事業活動			
3	各種事業活動	1,030,000	1,032,000
	青少年キャンプ	300,000	300,000
	B S Aセミナー	40,000	42,000
	研修旅行	600,000	600,000
	総会関係	90,000	90,000

主な事業活動支出内訳			
事業活動			
22	各種活動費	1,382,000	1,635,000
	青少年キャンプ	447,000	300,000
	B S Aセミナー	65,000	65,000
	研修旅行	600,000	600,000
	総会関係費	170,000	170,000
	100周年事業	50,000	50,000
	青少年育成	50,000	0
	信徒叢書新刊発行		450,000
23	文書活動費	1,000,000	1,000,000
	VISION	850,000	850,000
	パンフレット作成等	150,000	150,000
管理費			
53	旅費交通費	450,000	285,000
	一般交通費	280,000	150,000
	理事会	70,000	35,000
	支部長会	50,000	50,000
	支部訪問	50,000	50,000
54	通信運搬費	120,000	120,000
	電話代・郵送代他	70,000	70,000
	総会関係費	50,000	50,000
57	印刷製本費	60,000	60,000
	一般印刷・コピー代	30,000	30,000
	総会資料印刷製本	30,000	30,000

2020年度BSA名誉役員及び役員並びに幹部

2020.10.30.現在

名 誉 会 長：日本聖公会首座主教・九州教区主教 武藤 謙一主教

名 誉 副 会 長：日本聖公会各教区主教

東北教区	吉田雅人主教	北関東教区	広田勝一主教
東京教区	高橋宏幸主教	横浜教区	入江 修主教
中部教区	西原廉太主教	京都教区	高地 敬主教
大阪教区	磯 晴久主教	神戸教区	小林尚明主教
九州教区	武藤謙一主教	沖縄教区	上原榮正主教

名誉チャプレン：武藤六治主教

本部チャプレン：高橋宏幸主教、下条裕章司祭、

支部チャプレン：盛岡支部 林 国秀司祭 聖ルカ礼拝堂支部（休会中）ケビン・シーバー司祭

東京聖三一教会支部	林 永寅司祭	聖マルコ教会支部	佐々木庸司祭
イマヌエル新生教会支部	卓 志雄司祭	神田支部	井口 諭司祭
南町田支部	ケビン・シーバー司祭	横浜支部	小林祐二司祭
藤沢支部（休会中）	松田 浩司祭	湘北支部	姜 炯俊司祭
平塚聖マリヤ教会支部	島田征吾司祭	林間支部	片山 謙司祭
房総支部	田澤利之司祭	北総支部	三原一男司祭
清里支部	大野清夫司祭	福岡支部	牛島幹夫司祭

顧 問： 瀬川義夫、黒田哲朗、倉石昇、

会 長： 足立征三郎

副 会 長： 尾崎茂雄、木島出

理 事： 永井信行、後藤 務、萩谷長生、桑田秋光、吉松英美、野田徹、島崎敏彦、
松平謙次、松田正人、湯田啓一、湯田正範

監 事： 早川 潔、永井惇、

本 部： 足立征三郎、木島 出、橋岡加都子、

評 議 員： 19名（内支部長評議員12名）

（支部長）赤坂徹、川村啓三、天野公成、金澤一央、早野勝徳、渡辺多茂夫、小室喜雄、
高橋恵太郎、金子眞、池田稔、岩間光雄、外池圭二、

（評議員）国見登、戸川達男、松岡正治、松平信久、高橋保、諫山禎一郎、小出康之

【支 部】

盛 岡 支 部 5名

チャプレン：林 国秀司祭

支 部 長：赤坂 徹

聖ルカ礼拝堂支部（休会中） 2名

チャプレン：ケビン・シーバー司祭

支 部 長：早川 潔

東京聖三一教会支部 13名
 チャプレン：林 永寅司祭
 支 部 長：川村啓三
 インマヌエル新生教会支部 5名
 チャプレン：卓 志雄司祭
 支 部 長：天野公成
 南町田 支部 12名
 チャプレン：ケビン・シーバー司祭
 支 部 長：松田正人
 藤 沢 支 部 (休会中) 8名
 チャプレン：松田 浩司祭
 支 部 長：渡辺多茂夫
 湘 北 支 部 4名
 チャプレン：姜 炯俊司祭
 支 部 長：高橋恵太郎
 房 総 支 部 20名
 チャプレン：田澤利之司祭
 支 部 長：池田 稔
 清 里 支 部 8名
 チャプレン：大野清夫司祭
 支 部 長：野田 徹

東京聖マルコ教会支部 3名
 チャプレン：佐々木 庸司祭
 支 部 長：島崎敏彦
 神 田 支 部 4名
 チャプレン：井口 諭司祭
 支 部 長：金澤一央
 横 浜 支 部 18名
 チャプレン：小林祐二司祭
 支 部 長：早野勝徳
 平塚聖マリヤ教会支部 15名
 チャプレン：島田征吾司祭
 支 部 長：小室喜雄
 林 間 支 部 5名
 チャプレン：片山 謙司祭
 支 部 長：金子 眞
 北 総 支 部 15名
 チャプレン：三原一男司祭
 支 部 長：岩間光雄
 福 岡 支 部 8名
 チャプレン：牛島幹夫司祭
 支 部 長：外池圭二

【会 員】

(2020年11月30現在)

聖職会員名誉会員総数	76名
名誉会長・副会長：	11名
名誉チャプレン	1名
本部チャプレン：	2名
支部チャプレン：	15名
聖職会員：	47名
正 会 員：	191名
支部会員：	145名
個人会員：	46名
賛助会員：	81名

登録会員	348名
(うち年会費登録会員	272名)

新入会員

2019.12.03	ヨセフ	正	館野 裕之	60歳	横浜聖アンデレ教会	横浜支部
2020.02.24	フィリポ	正	石原 博之	74歳	松戸聖パウロ教会	北総支部
2020.02.24	テモテ	正	甲藤 善彦	83歳	松戸聖パウロ教会	北総支部
2020.02.24	ルカ	正	長崎 正寛	71歳	松戸聖パウロ教会	北総支部
2020.02.24	ローレンス	正	萩谷 長彦	44歳	柏聖アンデレ教会	北総支部
2020.02.24	ミカエル	正	溝田 悟士	43歳	松戸聖パウロ教会	北総支部
2020.02.24	ナオミ	賛助	岩間 芳子		松戸聖パウロ教会	北総支部
2020.02.24	セシリア	賛助	長崎 ケイ子		松戸聖パウロ教会	北総支部
2020.02.24	ロイス	賛助	山崎 千秀子		松戸聖パウロ教会	北総支部
2020.02.24	インマヌエル	賛助	中西 玉巳		松戸聖パウロ教会	北総支部
2020.02.24	モニカ	賛助	藪 真理子		柏聖アンデレ教会	北総支部
2020.02.24	マルタ	賛助	武井 育生		柏聖アンデレ教会	北総支部
2020.03.01	ヨセフ	正	石松 靖彦	73歳	福岡聖パウロ教会	福岡支部
2020.03.01	モーセ	正	酒井 健	47歳	福岡聖パウロ教会	福岡支部
2020.03.01	アンデレ	正	茂木 裕	65歳	福岡聖パウロ教会	福岡支部
2020.04.02	ヤコブ	正	高瀬 祐二	65歳	滝乃川学園聖三一礼拝堂	一般会員

† 物故会員

2020.04.21		正	金川 孝	83歳		一般会員
2020.04.22	アイレニマス	正	砂田 郁郎	86歳	東京聖三一教会	聖三一教会支部
2020.05.09	パウロ	正	並木 伸裕	82歳	林間聖バルナバ教会	林間支部
2020.06.28	サムエル	正	岡野 峻	88歳	聖パウロ教会	一般会員
2020.08.01	セオドール	正	江原 重則	85歳	林間聖バルナバ教会	林間支部
2020.08.03	クリストファ	正	小平 基	74歳	林間聖バルナバ教会	林間支部
2020.08.15	テモテ	正	金子 和雄	83歳	平塚聖マリヤ教会	林間支部
2020.10.11	トマス	正	奥水 國雄	93歳	清里聖アンデレ教会	清里支部
2020.10.21	エリザベス	賛助	八代 洋子	86歳	聖パウロ教会	賛助会員

主よ、世を去った兄弟姉妹の魂が、主の憐れみによって安らかに憩うことが出来ますように。

アーメン